



町章

全形を以って、円満協和を表し、両鋭角は町の発展を象徴し、かたかなの「ク」を二つ組み合わせて「フク」とし図案化したもの。

(昭和32年7月制定)

まちの概要

福島町は、昭和31年5月3日、田原村、八千種村、旧福島町の1町2村が合併して誕生しました。古くから交通の要衝として栄え、周囲を緑の山にかこまれ、中央部を清流市川が流れています。豊かで、調和のとれた自然環境は、中核田園都市として躍進する町の誇りです。



福島町庁舎

福島町民憲章

“民俗学のふるさと” 福島町は、清流市川にはぐくまれ、豊かな風土と歴史を背景に、多くの偉人を生んだ学問・芸術文化のふるさとです。先人のたゆまぬ努力によって、絶えざる躍進を続ける福島町に、わたしたちは、誇りと責任をもち、活力とうるおいのある平和な町づくりのため、この憲章を定めます。

一 恵まれた自然を生きし、住みよい、調和のとれた町をつくりましょう。

一 豊かな伝統と歴史を守り、教養を深め、香りがよい文化の町をつくりましょう。

一 人を大切にし、みんなで助けあい、豊かな心がふれあう町をつくりましょう。

一 心と体をきたえ、健康で、明るく楽しい町をつくりましょう。

一 くふうと努力を重ね、生きがいある、未来をひらく町をつくりましょう。

(昭和61年11月制定)



福島町議会



副町長／尾崎吉晴



町長／橋本省三



議長／難波靖通



副議長／高井國年



町花／サルビア

サルビア・スプレンドスはシソ科に属し、ラテン語でサルビアは「安全」スプレンドスは「強く輝く」を意味し、躍進する理想と人々の誠意を象徴する花として広く愛されています。

(昭和47年12月制定)



町木／クロガネモチ

クロガネモチはモチノキ科に属し、高さ10mぐらになり、実は小型球型で10月から12月にかけて紅熟します。昔からクロガネモチは「お金持ち」「田もち」「子もち」など、縁起の良い木とされ、抜群の生命力があります。

(昭和47年12月制定)

岩手県遠野市との友好都市提携

平成26年8月に「友好都市共同宣言」

民俗学の父・柳田國男生誕の地である福島町と、「遠野物語」で知られる岩手県遠野市は、柳田國男ゆかりの地という結びつきから記念行事や展覧会などを通して、長年交流を進めてきました。この絆をさらに深めるため、平成26年8月23日に友好都市共同宣言に調印、友好都市提携を結びました。以来、文化・産業・観光などで交流の輪を広げています。



調印式／平成26年8月23日
左から新田遠野市議会議長、本田遠野市長、嶋田町長、志水議長

